



ハナモモの花 高田 2005,4,8

奈良学園3キャンパス（三郷、高田、登美ヶ丘）

# 自然通信 No11

2011、10、28（文責・©一短大：磯辺ゆう）

**桃から生まれた桃太郎は、雉と犬と猿を連れて鬼退治に行きます。雉の特徴は、華やかな雄とケーンとなく声です。私たちのキャンパスにも桃が実り、雉がやってきます。**

二上山の目覚うながす雉のこゑ 窪田粧子 馬酔木

## \* モモ と キジ \*



ハナモモの実 高田 2009,8,14



キジ 登美ヶ丘 2009,4,6（法人本部 柳原氏撮影）

果実の中でもふくよかさでは右に出るものがないのが桃です。現在は明治時代に到来した水蜜桃が主流で、その味によって人々から愛されています。中に大きな核が一つあり、その硬い殻の中に種子を包んでいます。殻は種子とは別で種子の皮ではありません。種子、葉、蕾とも薬用となります。モモ(バラ科)は中国原産で、中国ではめでたいものと重んじられてきました。日本に渡来したのは古く、弥生時代前期の地層から核がみつかります。ハナモモは、花を觀賞する品種で、江戸時代に改良され、普及するようになりました。ハナモモの果実は食用に適さないとされています。しかし、写真のように小さいながらも十分桃の実となり、食べることができます。

さて、キジは日本の国鳥で、北海道と対馬以外の本州から九州まで生息しています。キジ目キジ科に属しますが、同科には、ライチョウ、ニワトリ(東南アジアにいるセキショクヤケイを家畜化したもの)、ウズラ、ヤマドリ、クジャクなどなじみのある種が多くみられます。キジは畑や堤防の草むらなど、意外に身近な所に見られる大型の野生鳥で、隠れる時はさすがにみごとに気配を消してしまいます。身近にいる大きな鳥なので縄文時代から日本人はキジを食べていました。現在も日本では狩猟対象になっていて、放鳥もされていますが、放鳥されたキジは脚輪を付けているのでわかります。元来日本には1種(地域により4亜種)が生息するだけでしたが、現在は北海道に大陸原産のコウライキジが放鳥され野生化しています。

## ・桃・雉・桃太郎

### 桃

現在の桃の産地は、山梨県や岡山県などです。日本最古の桃の核は弥生時代前期(夜臼・板付I式期、唐津市菜畑遺跡)が確かで、大きなものです。この夜臼・板付I式期というのは、C<sup>14</sup>年代測定法によると紀元前 8-9C 頃とされ、九州では同時期に水田跡が認められています。弥生時代末期(3C)になると、纏向遺跡の大型土坑から核が 2,000 点以上発見されました。その中にはまだ若い



纏向遺跡から出土したモモの核  
桜井市埋蔵文化財センター,2011,8,17

核や周囲に果肉が残るものもありました。何か祭祀に関わる遺物ではないかと考えられています。古いモモの品種では、核はパクリと二つに割れます。古代中国ではこの割れ方が占いに用いられ、文字「桃」も「きざし」を意味する「兆」が使われているのです。

桃の葉は、お風呂に入れるとあせもによく効きます。私の皮膚が弱かった子供に大変効きました。桃には呪術的な意味があるようですが、このようなことも関係しているのかもしれない。

### 雄のキジの尾羽はなぜ目立つのでしょうか

キジは、ニワトリやクジャク同様、地上にすることが多く、地面をついばむというよく似た摂餌方法を取ります。



餌をついばむニワトリ  
石上神宮 2010,1,23



インドクジャクの雄、  
京都市動物園 2011,10,18  
尾の飾り羽は繁殖期(4-7月)が過ぎると抜け、11月頃再び生えそろう。もうちょっとだった!

これらの雄は尾羽が美しく、採餌方法に由来する一連の繁殖行動と関係があると言われていいます。この仲間の雌への求愛方法の最も古い状態を残しているのがニワトリで、地面をつついて餌をとる姿勢をとり、雌を誘うというものです。すると自然に尾が上にいき、目立つ状態になります。キジはその次の段階にあり、雄は地面をつつく真似をし、尾羽を高くあげて誇示するようになります。さらに進めばクジャクのように、地面をつつくことなく、尾の飾り羽を大きく広げて雌にアピールするようになるという考えです。

### 桃太郎

桃太郎の昔話は日本各地で語られてきました。その話にはバリエーションがあり、乱暴者の桃太郎とか、山へ仕事に行くのをなんだかんだと言ってなかなか腰を上げない桃太郎とか、面白い語り話があります。現在普及している話は明治になってから整理されたお話です。また日本各地で、桃太郎伝説由来地を名乗っていますが、これは観光地としての意図をもつものです。岡山県(吉備)は鬼の居た場所で、奈良県田原本町黒田では、吉備を従えた吉備津彦の古里として、桃太郎の誕生地と誇っています。



桃太郎誕生伝説地 黒田法楽寺 2011,8,17

### 主な参考図書・文献

唐津市教育委員会(1982)唐津市文化財調査報告書第5集 菜畑遺跡。湯浅浩史(1993)植物と行事 朝日選書 478 朝日新聞社。野村純一(2000)新・桃太郎の誕生 吉川弘文館。桜井市教育委員会(2010)纏向遺跡第168次調査。小林朋道(2011)先生、キジがヤギに縄張り宣言しています 築地書館。弥生時代の開始年代について <http://www.rekihaku.ac.jp/kenkyuu/news/index.htm#yayoi> (国立歴史民族博物館)